

熊本教育新聞

良好な職場環境づくりを進めるために

積極的な加入の声かけを

熊教組は、第4回組織拡大実行委員会を2月6日に開催した。この会は、支部長や専門部長等で構成し、今年度から2力年間の予定で組織拡大運動を進めるために設置したものである。会議は、実行委員長である平江・城北支部長の進行で行われ、まず、これまでの取り組みの成果と課題に



組織拡大実行委での熱心なグループ討議

ついて協議を行った。上杉書記長からは、年末に1、3年目の新規採用者に送付した「勤務時間上限規制に関わるアンケート」の集計結果をもとに、「過重労働を防ぎ、適正な勤務時間の記録を推進するためにも、組合加入の声掛けを」との提起があった。

また、大雪の影響で中止になった『冬の実践講座』への参加を多くの未組織者に参加を呼び掛けてきた城北支部と養護教員部から報告があり、城北支部からは執行委員が積極的に働きかけたことが、養護教員部からは独自にチラシを作成して各支部で取り組んだことが報告された。

機関紙
発行所
熊本県教職員組合
熊本市中央区九品寺
1-11-4
☎096-372-1500
http://www.e-ktu.com
編集発行人・杉田正幸
定価 一部50円
(組合員の購読料は組合費に含む)

次に、今後の組織拡大運動を進め方について協議を行い、平江実行委員長から独自作成の「働き方改革処方箋」「すぐできる組合説明会実施マニュアル」に基づいて説明があり、「最初の声掛けの時に『組合に入らんね』と言うこと」と「組合加入を断られるのは当たり前という気持ちで声掛けをすること」の大切さが述べられた。

続いて、天草支部からは、2月を加入声かけ期間に設定し、同僚や知り合いの未組織者に独自チラシを利用してできるだけ多くの組合員で声かけをする綿密な計画が発表された。

その後、支部や専門部の

渡小学校PTAへ

義援金を贈呈

熊教組の杉田委員長は、7月の集中豪雨で校舎及び体育館が床上浸水の甚大な被害を受け、一勝地小学校内の仮校舎での教育活動を余儀なくされている球磨村の渡小学校を2月12日に訪問し、校長室で渡小学校PTAの船戸会長に義援金の贈呈を行った。

なお、同PTAはこの義



船戸会長へ(右)へ義援金を贈呈

実態を出し合うと共に今後の行動について意思統一をグループ毎に行った。

まとめとして、勤務時間把握の徹底やまとまった休憩時間の確保、超過勤務の縮減など進め、市町村毎の総括衛生委員会の設置を求め、健康で働き続けられる労働環境づくりをすすめていくために今年度残された期間に各支部専門部で一人でも多くの未組織者に声かけを行うことを確認した。

役員補欠選挙 もれなく投票を

2月17日が役員補欠選挙の投票基準日です。分会に届けられている投票用紙にてもれなく投票の上、分会でまとめて選挙管理委員会宛の封筒で返送してください。3月6日10時必着です。

勤務時間上限 規制の実態 明らかに

熊教組は昨年末新採1年目から3年目の教職員対象に勤務時間上限規制に関するアンケートを行った。そこから見てくる実態は規制の主旨に明らかに反するものだった。

教職員の長時間労働が問題となり、給特法が改正され、勤務時間の上限規制が今年度から行われている。時間を規制することで業務を削減することが狙いである。しかしながら、回答記述には時間を短く記録させられたり、管理職や周りの目を気にして不正な記録をし

ているケースがあった。熊教組としてはこの実態を県教委に伝え改善を図る方策を検討するよう申し入れていく。

新採1年目から3年目の皆さんの回答より

なぜ正しく記録できないの？

●ある時間を超えると「教育長の面談がある」「医師の面談がある」と言われるから。●超勤の先生に（時間を）短くするよう管理職が言っているのを聞いたから。●勤務時間縮減を強く言われるから。

●1カ月の超過時間を45時間以内にしよう管理職に言われている。●時間が遅くなると教務に半ば強引にタイムカードを切らされた。●80時間を超えてしまう。

なぜ土日は記録しないの？

●超勤が増えるから・勤務時間縮減を強く言われるから。●管理職が時間を短くすることにこだわり、そこばかり注意されるから。あきらめている。●45時間を超えてしまいそうだから。●管理職や周りの職員から白い目で見られる。●土日の時間を入れてしまうと大幅に在校時間が長くなり面談等があるから。●80時間を超えるなど言われるから。●土日は対象じゃないと思っ

ている。●記録してどうすればよいかかわらない。

困りごと悩み事はありますか？

●勤務時間が長すぎる（残業が多すぎる）。

●保護者対応●（自分に）子どもができたときに今の状態では仕事を続けることが難しい。●パワハラ上司と事務室にずっと二人きりでつらいです。パワハラがひどい時は管理職に相談しましたが「大人の対応を」と言われました。年休も取りづらいです（理由を聞かれる）。ずっと無理した初任3年間で過ごしています。●業績評価について「〇年目だからBにしとくね」と言われた。何のための業績評価なのかわからない。時間の無駄とし

か思えない。仕事をどんなに頑張っても若いなら評価されないのか。●校務分掌を複数担当しており、業務が同時期に重なり大変。子どもがいるが家事育児がおろそかになり心労があった。●転職活動。一刻も早く中学校から部活動を廃止してほしいが、あきらめかけています。●仕事量の多さの不均衡。若い人か重い校務分掌や授業研を担当させられる。●絶対的に時間が足りない。土日も仕事のことを考えたりします。準備に追われる生活がずっと続くのかなーと思います。●休憩時間に休憩できない。修学旅行や集団宿泊教室の時間調整が短いことに疑問を感じます。

継続的に話し合うことの大切さ 養護教員部 体育保健課との意見交換会

1月25日に県庁で養護部員6名、体育保健課2名、健康作り推進課2名で意見交換会を実施した。

要請内容

- ① フツ化物洗口について
- ② 定期健康診断について
- ③ 養護教諭の専門性と働き方改革について

それぞれの項目についての回答は次の通り。

① 集団フツ化物洗口を、地域の医療機関での取組に切り替えることについては、居住地や地域の実情が違うので難しい。う歯予防は、歯みがき指導と食生活指導とフツ化物洗口で行う。一部の人に負担が偏らないように各自自治体で「歯科保健協議会」を開催し、やりやすい方法と安全に実施できるように、みんなで話し合っ

挨拶する岩崎養護部長(左)



体育担当指導主事等研修会で、相談体制の確立について指導している。ピロリ菌検査等、健康診断の項目にない検査や健診は、進めていない。

③ 学校保健統計調査については、今年度から内科以外は男女別をなくした。

アンケート調査についても、6月の食育推進のアンケートと11月の健康教育実態調査を一本化した。学校行事以外の研修会や中体連等の救護については、安易に養護教諭に依頼しないように指導している。医師や看護師の派遣要請もしている。

まとめ

フツ化物洗口については平行線だったが、県教育委員会としてもアンケート調査等、働き方改革の面から負担感を無くす取組を進めていること等がわかり、意見交換の必要性や次年度に繋げていく方向性も見えた有意義な会だった。

あなたは

どう思いましたか?

許さん! 森発言

これまでの長い男性中心の議会政治に象徴される日本の社会問題が一気に露呈した発言だった。これを機に、あらゆる意思決定の場に女性が加わる仕組みを加速化し、多様性を認め合う社会をめざそう。

まずは自分の足元から! 熊教組は女性参画率(大会代議員、役員等) 目標40%までもう一歩!

よせいはい

「わきまえ」てこそ

よしとする

せいじのありかたに

いざあり あり!

さんかくしゃはいは

か いざから

ま教組 いざまい進!

全国教研

WEB開催

熊本県18ヶ所で視聴

講師のフोटोजャーナリスト

安田菜津紀さんの話に感動

本年度の日教組教育研究全国集会は1月23日土曜日13時からWEBで開催された。TVサンデーモーニング等に出演の安田菜津紀さん「写真で伝える紛争地域、被災地の子どもたち」の講演は、優しく穏やかに、相手に寄り添いながら行動する彼女の生き方に、自分は何ができるだろうと考えさせられる内容だった。上益城支部では、未組織者2名も含め、6名で一緒に視聴し大変好評だった。

見逃した方のため2月23日(祝)18時まで再配信がある。希望者は2月22日(月)14時までメールで申込みを。

見逃し配信 申込先

県教組 竹田

kumabun@e-ktu.com



親と子と教職員の

教育相談室より

相談員 河崎 醇二

がまんする力が弱い

現代の子どもは「がまんする力が弱い」とよく言われる。思い通りにならないことがあってもイライラすることなくがまんする力を、心理学ではフラストレーション(欲求不満)耐性と言っているのだ。

人間が生きていくためには、欲求を社会的な状況に合わせて、ある時はそれを抑え、ある時は満たすことが必要である。車の運転(コントロール)にアクセルとブレーキが必要なのと同じである。

この耐性は自分が誰かに大事にされていることを実感したり、自尊心が養われたりすると高くなるぞうだ。

とすると、「がまん力が弱い」のは子どもが十分に大事にされていないことの現れと言える。

子どもが弱いのではない、大人の責任と言えるのではないか。



第67回 母と女性教職員の会 更新版

～子どもたちに平和で安全な未来を～



今年の母女はコロナ禍でも「母女の灯を絶やさない」「地域でつながろう・

学習しよう」という気持ちで支部ごとに行います。日時・場所・内容が変更になった所があります。

感染状況等でさらに変更することもあります。担当者にお確かめください。

支 部	日 時	場 所 / TEL	内 容	担 当
城 北	延期 期 日 未 定	岱明ふれあい 健康センター 0968-57-4141	「災害時のための防災教育」 防災士、柳原志保さんによる防災講座	中 島 080-3962-7436 城北支部 0968-82-8774
菊 池	(講演) 集会は 中止		役員で「ごめんねメリー」作者の岩下俊子さん を訪ね、本のDVD(教材化)化に取り組む。	平 川 090-9489-1193
阿 蘇	2/13 10:30 11:30	オーガニックカフェ olmo-coppia 0967-34-1710	「学ぼう つながろう」 講師 地域小規模作業所「夢屋」宮本誠一さん 竹原ナホ子さん	杉本・衛藤 080-1702-8016 090-1080-3945
宇 城	2/20 10時～ 11:30	宇城教育会館 0964-32-0120	「インクルーシブ教育について」 廣岡睦美さん(保護者)の講演・演題 「共に生きるための支援を考える」	前 田 090-7384-5989
八 代	2/13 13時～ 15時	八代教育会館 0965-32-2415	「外国ルーツの子どもたちと指導員の現状」 講師：日本語指導員 大住葉子、萩田いくみさん	大無田 090-7458-9358
人 球	2/20 14時～ 15:30	人吉教育会館 0966-24-1555	「水害にあって考えたこと」 SSW(スクールソーシャルワーカー)の方を交えて 座 談 会	鎌 田 090-5295-9550
水 芦	2/20 16:00 ～18:00	つなぎ文化センター 0966-78-3096	「スマホの危険性及び高校現場の保健室の今」 講 師 熊本工業高校養護教諭 荒川紀代さん	津 江 090-5489-3639
天 草	延期 期 日 未 定	天草教育会館 0969-23-2354	「支部母女を振り返りながら、子育て・働き方 について語り合おう」座談会	岩 崎 080-1787-1279
上益城	集会は 中止	上益城教育会館 096-282-0137	女性部で集まり、来年度の体制を考える。	大 林 090-3196-3360
熊本市	2/13 14時～ 16時	zoom 講 演	「定数内不合格を考える」 住谷理香さんレポート(これまでの取り組み) 虹色の会の方のお話・リモート講演	坂 本 090-2081-8617 市教組 096-371-2711

主 催／「母と女性教職員の会」実行委員会

連絡先／Tel 096-372-1500 (担当：竹田) 女性部長：吉柳^{きりゅう} (090-3602-6820)

